

女性会連盟ニュース 54号

Japan Evangelical Lutheran Church Women



ひびき

第25期主題 …主イエスのまなざしと出会う…

神さまに、隣人に、そして社会に仕える

喜ぶ人と共に喜び、泣く人と共に泣きなさい ローマの信徒への手紙12章15節

発行:日本福音ルーテル教会女性会連盟・発行者:八木 久美

「集まる恵み・多様性における一致を求めて」

集まる=人々の思いや気持ちが集中する、注がれること。
多様性=色々な種類や傾向のものがあること。変化に富むこと。

会長 八木 久美

誰もが「集まること・繋がること」について、自らを問い直す貴重な4年を過ごしてきた中で、「普通であること」への視点も新しい価値観が加わり意味を持ち始めています。▶▶▶昨年12月2日、第2回合同役員会が開催されました。担当教職の平岡仁子牧師、各教区会長、連盟役員、事務局員が一堂に会して諸活動報告、連盟総・大会/愛餐会の進め方、ホームページのリニューアルを含め諸課題について活発に協議し、平和を求める祈りを行いました。詳細は事務局よりお送りしている報告書をお読みください。▶▶▶各教区で、各教会で女性会総会が開催され課題への活発な議論が展開されています。来たる6月7日(金)、8日(土)はいよいよ女性会連盟総・大会が東京教会を会場に開催されます。今回はそのご案内にフォーカスしてニュースをお届けします。

【講演】平良 愛香(たいら あいか)氏

1968年沖縄生まれ。高崎芸術短大音楽科、農村伝道神学校神学科卒業。男性同性愛者であることをカミングアウトして牧師となる。桜美林大学・立教大学にて長年非常勤講師を務め、現在、日本基督教団川和教会牧師(横浜市都筑区)、農村伝道神学校校長、平和を実現するキリスト者ネット事務局代表ほか。著書「あなたが気づかないだけで神様もゲイもいつもあなたのそばにいる」(2017年学研プラス。電子書籍で入手可)、「10代のキミへいのち・愛・性のこと」(2016年日本基督教団出版局)、監修「LGBTとキリスト教 20人のストーリー」(2022年日本基督教団出版局)など。



第26回 連盟総・大会プログラム

■6月7日(金) 総・大会

- 12:00 受付開始
- 12:45 開会礼拝
召天者記念礼拝・聖餐式
- 14:00 挨拶・オリエンテーション
会場設営・休憩
- 14:30 講演会・平良 愛香氏
-LGBTが安心していられる場所は、
全ての人が安心していられる場所-
- 15:40 会場設営・休憩
- 15:50 審議事項Ⅰ 諸報告
- 17:30 1日目審議終了
休憩・会場へ移動
- 18:00 愛餐会
- 20:30 終了

■6月8日(土) 総会

- 8:45 受付開始
- 9:15 朝 禱
- 9:30 審議事項Ⅱ 議案審議
- 12:00 昼食・休憩
- 12:45 審議事項Ⅲ 審議・協議
- 総会まとめ
- 15:00 派遣礼拝
役員就任式
26期役員の紹介
25期役員退任の挨拶

♣ 総・大会: JELC東京教会
♣ 愛餐会: バトゥール東京

連盟総・大会の申込方法

申込の流れ

各教会から前教区会長へ
申込書提出
期間：3/8(金)～3/15(金)

事務局より各教会へ
請求書送付
4月中旬

費用払込み
期限：5/15(水)
払込方法は後日通知

総・大会参加申し込みについては、各教会(女性会・婦人会・信徒の会)単位で纏めて、皆さまの教区の今年の2月まで会長をしてくださった前期会長宛へお送りください。申し込み要項に宛先等を記載しておりますので、お間違いのないよう郵送・ファックス・メールのいずれかの方法で、お申込みください。メールの場合は申込書のフォームを連盟事務局までご請求ください。申し込み用紙は教区で纏まり次第、女性会連盟事務局へ送られます。各教会への総会資料、請求書は事務局より郵送されます。

【申し込み先】各教区前会長宛、函館教会・札幌教会は女性会連盟事務局宛となります。

詳細は申し込み要項をご確認ください。なお、お申込み後の参加キャンセル等は連盟事務局にお手数ですが必ず書面：郵送・ファックス・メール(電話以外)にてお知らせ願います。

申し込み先として前教区会長が快くお引受けくださいましたこと、感謝いたします。

【お問合せ】連盟役員または、事務局にFAX又はメールにてお願いします。

【宿泊について】宿泊はご自身でご予約をしてください。

*会場の東京教会付近にはビジネスホテルが多数あります。

*遠方からの参加者は宿泊付き航空券、JRが安価に入手できそうです。

*宿泊の予約が困難な方は事務局までFAXかメールでお問合せください。

【連盟事務局】

〒169-0072 新宿区大久保1-14-14

【FAX】03-3207-2340

【MAIL】jelc-w@big.or.jp

【開局日】火曜 13時～16時

金曜 10時～16時

今、この時に生かされている世界中の同胞と共に、平和を願い祈りを合わせたいりましょう。

2024年「世界祈祷日集会」のご案内

2024. 3.1 世界祈祷日集会

*各地区の集会は世界祈祷日事務所のホームページをご確認ください。
<https://cloister171.blog.fc2.com>

—パレスチナからのメッセージ—
あなたがたに勧めます
……愛をもって互いに忍耐しなさい
エフェソの信徒への手紙：4章1節-3節

正義と平和の使者として、
祈りと共に歩みだしましょう

世界祈祷日国際委員会は、2024年のプログラムのために、次の祈りをあらたに加えます。

■今もお子どもたちや家族を失っている女性たちのために祈ります。あらゆる困難や痛みになやかに耐える彼女たちの強さが、回復への光となるよう祈ります。逆境を乗り越える勇気を与えてください。そして、繁栄をもとめる願いが、この苦しみのただ中で明るく輝きますように。

今、戦争の時代に、心が癒され、平和が元通りになるように祈ります。慈しみが憎しみに打ち勝ち、すべての人々の苦しみが和らぎますように。

力と慰めを、調和のとれた明るい未来への希望を与えてください。

仲間を失ったすべての家族のために祈ります。誘拐された人々、行方不明の人々、瓦礫の下の人々のために祈ります。再会を待ち望む人々の上に、神の霊が忍耐と力を与えてくださいますように。

主イエスよ、すべての戦争が終結するように。あなたが故郷と呼んだ土地で起きている戦争が一刻も早く終るよう祈ります。あなたは、私たちの救い主です。

あなたは、本当の平和の意味を教えてくださいました。どうか一人ひとりに毎日の生活の中で、平和を實踐していく力を与えてください。



Artwork by Halima Aziz, created especially for the 2024 World Day of Prayer service, written by WDP Palestine

第26回総会議事案のご案内

来る総会にて下記の議事案を考えております。限られた時間で速やかに議事を進行いたしたく、事前に皆さまにお考えいただけようように本誌に掲載いたします。なおこれらの議事案は今後、協議検討を重ねたうえでより良い方向を目指すものです。

ー以下、順不同掲載ー

◎議事案Ⅰ…今後の女性会連盟のあり方検討委員会(仮称)の設置

今後の女性会連盟のあり方の協議を推進するための検討委員会を立ち上げる。

例)教区単位での検討と教区を越えた連携による検討を実施する具体的な委員会。

【理由】2028年に創立100周年という節目を迎える女性会連盟の今後について、加速度を増す社会と価値観の変化を柔軟に受容し、創造主から受ける恵みを共有していけるか。他者の違いを認め、未来へ向かって繋がる事が可能か、有意義な検討を重ねていきたい。

◎議事案Ⅱ…サバ神学院支援について下記の何れかを検討

①支援開始より30年を経て、多くの恵みを受けたことへの感謝を持ち終了。②現状に見合った小規模での支援の継続。③感謝献金へ組み込む形で支援の継続。

【理由】支援開始時に核となり奉仕された会員の高齢化・減少に伴い若年層の関心も希薄化は否めない現状であり、加えて日本国内での牧師・神学生のなり手不足の危機的状況に対して、他に打開策を考えたいことから。

◎議事案Ⅲ…継続的な日本の神学生支援の窓口の設置

【理由】女性会連盟の自主的な支援として、学び舎での四年間を通して(神学生の状況により異なるが)「神学生」自身を支えていきたいとの希望から。

◎議事案Ⅳ…主 題と活動方針…

総主題:虹の架け橋を見上げて

副主題:平和・寛容・多様性

聖書箇所:創世記9章13、16節

「わたしは雲の中にわたしの虹を置く。これはわたしと大地の間に立てた契約のしるしとなる」

【理由】連盟・教区女性会・個教会女性会が様々な課題(少子高齢化、若年層を含めた教会離れのみならず)に直面し岐路に立つ今、私たちの周りには不寛容さに取り囲まれていることを痛感します。

だからこそ、「多様性と寛容性」を総てのキリスト者である会員と共に希求する。平和・寛容・多様性を求めて、「女性」「男性」のくくりを取り払い、地上に生きるすべての命が祝福されることを祈るものです。

【活動方針】

・社会の中で祈りの実践を

・年2回の「会報」と「ひびき」、ホームページによる情報発信と共有

→ホームページリニューアルと情報発信の充実化を図る

・聖書研究によるみ言葉の学びと成長

・感謝献金による国内外への生きた宣教と支援

・次世代への信仰継承と、あらゆる世代との宣教の分かち合い

・国内外の災害への連帯支援の実践

*私たちが生かされている世界・社会の状況が急激に変化する中で不寛容性が際立ち、価値観も多様化しています。

平和と寛容を求め、多様性を理解し分かち合えるように祈りと共に行動を。

私たちは、ロシアのウクライナ軍事侵攻を深く憂慮します。
 ルーテル世界連盟LWF・日本福音ルーテル教会JELCの取り組み・連帯献金を延長受付していますー



■連帯献金の送付先

郵便振替:00190-7-71734

口座名:「(宗)日本福音ルーテル教会」
 「ウクライナ人道支援献金」とご明記ください。

■わたしたちは、ロシアによるウクライナ軍事侵攻と、長期化し混迷の度をましている状況に深く憂慮します。

戦争におびやかされているあらゆる人々の安全といやしをなにより祈りつつ、すべての暴力に反対し、即時停戦と平和を求める、ルーテル世界連盟(LWF)の声明に賛同します。またわたしたちは、ルーテル世界連盟が呼びかけているウクライナ・ドイツ福音教会と近隣国のルーテル教会を通じたウクライナ人道支援への協力を、みなさんに呼びかけています。

日本福音ルーテル教会は、ウクライナ諸教会と人々を支援する為の連帯献金を、延長して受付しています。思いを寄せて下さるみなさまには、送金先をご確認の上、どうぞご支援をお寄せ下さい。

パレスチナ支援ルーテル世界連盟LWFエルサレムプログラム
 ー緊急募金のための連帯献金(3月末迄期間延長)のお願いー



■連帯献金の送付先

郵便振替:00190-7-71734

口座名:「(宗)日本福音ルーテル教会」
 「パレスチナ支援LWFエルサレム
 プログラム緊急募金」とご明記ください。

■2023年10月以来、パレスチナ・ガザ地区へのイスラエルの攻撃による被害者の増大が報じられ、深く心を痛める日々が続いております。

ルーテル世界連盟(LWF)では、1948年以来パレスチナ支援として「エルサレムプログラム」が展開され、近年は特にヨルダン西岸地域ならびにガザ地区での医療支援・教育支援活動が行われてきました。

LWFが東エルサレムで運営するアウグスタナ・ヴィクトリア病院は、ガザ地区唯一のガン診断センターをアル・アハリ病院において運営していましたが、10月17日に大きな被害を受け、現在その復旧が急がれ状況に鑑みて、その他にも緊急医療支援をはじめとして様々な支援が必要と

なっています。これを受けてLWFではパレスチナ支援の働きのための「エルサレムプログラム緊急募金」が10月末より開始されていますが、2024年3月末日まで期間を延長して受付しています。

■ <https://www.lutheranworld.org/get-involved/ongoing-campaigns-and-open-calls/crisis-holy-land>

またアクト・アライアンスを通じて、現地支援のための募金が広く世界の教会に呼びかけられています。

■ <https://actalliance.org/wp-content/uploads/2023/10/PSE231-Appeal-Gaza-Conflict-1.pdf>

即時停戦と大きな被害に遭われ、悲しみ、絶望、不安の中におられるパレスチナ、イスラエル双方の人々のためにお祈りください。

パレスチナ被災地支援/ルーテル世界連盟LWFー女性会連盟から支援金募集のお願いー

■連帯献金の送付先:第一次募集→4月末迄

振込先:ゆうちょ銀行

口座番号:00170-2-429911

加入者名:「日本福音ルーテル教会女性会連盟」
 「パレスチナ人道支援献金」とご明記ください。

■女性会連盟ではLWFへの連帯支援に加え、独自にパレスチナ被災地支援を実施します。第一次募集は4月末を期限とし送金のうえ、6/7~8連盟総・大会席上献金も予定しています。祈りを合わせてご協働くださいましたら幸いです。お問合せ:連盟事務局、役員へメールでお願いします。

能登半島地震被災者支援:令和6年能登半島地震に対する義援金

無料送金サービス実施のご案内ー2024年1月5日(金)から同年12月27日(金)までー

■日赤令和6年能登半島地震災害義援金 口座番号:00150-7-325411

■石川県共募令和6年能登半島地震災害義援金 口座番号:00170-5-421764

■石川県令和6年能登半島地震災害義援金 口座番号:00100-8-45236

■https://www.jp-bank.japanpost.jp/aboutus/activity/fukusi/abt_act_fk_gienkin.html

■ルーテル教会では中期的な取り組みを実施します。

ウクライナ、パレスチナ・ガザ、能登半島地震の被災地へ祈りと支援の輪で連帯しましょう